

実施日：11月15日（5校時）	
領域：理科	
取組名：協同的探究学習	
対象：全学年	実施場所：各教室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の中で、一人一人の子どもの考えを教師が尊重し、肯定的に評価してその意味や意義を他の子どもに伝えることで、みなで高め合う。 ・ 学級で、授業を通して、聴き合い認め合う人間関係を築く。 	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理科に、少しでも興味を持たせ、学習意欲の向上を図るために、身近なものを扱ったり、生活に根ざしたことを教材とし、興味・関心をもたせる。 ・ 授業をわかる喜びや学ぶ楽しさを体験させる。 ・ 自分の考えを説明する機会をあたえる。 ・ 友達の考えをしっかりと聞くことで、自分の考えを深める。 	
ウ 連携先：加古川市教育委員会(教育研究所)	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学期に1回、東京大学大学院の藤村宣之教授による校内研究支援授業により、自己肯定感を高める授業法について、協同的研究を実施する。 ・ 近隣の小中学校教員も授業参観することにより、校種間連携した授業法改善を図る。 	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員全員で研究授業を参観し、その後、研究協議を行い、藤村教授から指導助言をもらう。 ・ 各教科で、自己肯定感を高めるに適する内容を検討し、授業実践する。 ・ 授業づくりや評価を行うため、各教科で共通の評価の観点ポイントを示す。 	
<p>カ 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究協議での話し合い、藤村教授からの指導助言 ・ 授業後のアンケート ・ 定期テストにより、生徒個人の興味関心や理解度を評価する。 	
<p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員で、共通のテーマについて話し合い、共通理解し合うことにより課題が明白になった。 ・ 生徒評価シートより、「このような授業をもう一度受けたい」という生徒が多数おり、学校全体で授業改善をさらに推進していきたい。 	
<p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校を改善するためには、教師の授業に対する意識改革が重要である。 ・ 問題傾向のある生徒をいかに取り込みながら、全体の自己肯定感を高めていくかが課題である。 ・ 魅力ある授業を通して、よりよい「集団」づくりを行いたい。 	